

シマフクロウがいつまでも北海道で暮らせるために

失われた自然環境を復元することでシマフクロウを保護する努力が始まっています。



マツなどの植林された針葉樹を間引いて、シマフクロウが好む広葉樹を残しています。



市民が参加して森づくりにも取り組んでいます。



若木が成長すれば、ヒトが作った造林地が自然の森林へと復元されます。生息地と生息地の間を緑の回廊で結ぶための植林をしています。



シマフクロウの餌となるカエルやサンショウウオを増やすため、林の中に池を作って産卵場所を提供しています。



針葉樹を間引いた後には広葉樹を植林しています。大切な若木がシカに食べられてしまわないよう、一本一本大切に育てています。



シマフクロウのための森作りはまだ始まったばかり。いずれ北海道中に豊かな森林を復元できればいいのですが。